

2013 Year End しゃべり場@軽井沢

at 1-5 pm on Sunday 22nd Dec 2013

in 中軽井沢図書館多目的室

<http://kutsukake-terrace.info/kutsukake004.html>

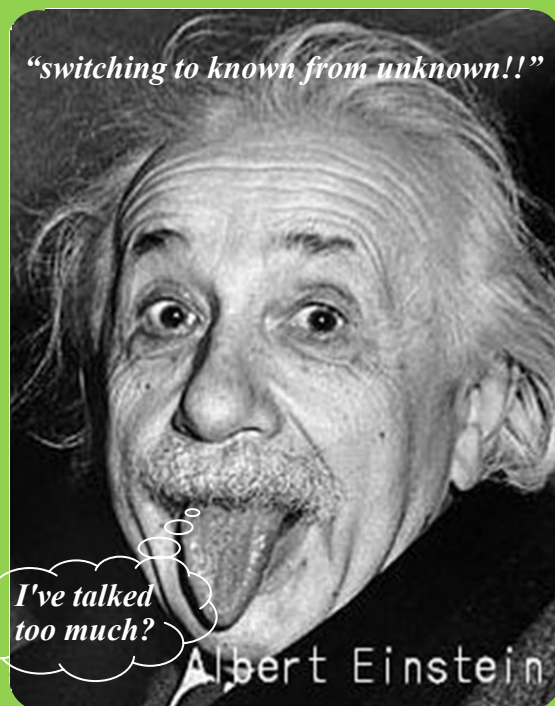
連絡先：軽井沢町大字長倉 3037-18 / Tel: 0267-41-0850

参加無料

しゃべり場 Web サイト：<http://www.kofuza.jp/index.html>

主催 一般社団法人 光楓座、
千葉大学佐藤研究室

協賛 東京中小企業家同友会
「元気広場」創エネ・省エネ
研究会、東京中小企業家同友
会（エコ委員会）、株式会社
光と風の研究所、ブリッジ
ング・ブレインズ合同会社、株
式会社 タック、航風館、株
式会社 ブルーリンクシステ
ムズ、ST 株式会社、マトリ
ックスエナジー 株式会社、
麴屋三四郎酒舗、一般社団法
人 地域都市活性化研究会、
株式会社 テックデザイン、
銀座金澤翔子美術館、ほか。



後援 一般社団法人 日本建築
美術工芸協会(aaca)、千葉大学、
日本技術史教育学会、軽井沢町、
軽井沢新聞社、長野県軽井沢
高校、FM 軽井沢

目的 年末に際して、軽井沢のも
つアートや文化、自然、地域資
源などの保全と利用を進める
ため、大学や学協会、企業家や
NPO 関係者および地元一般人
などが参加し、これまでの成功
や失敗の経験、未着手の提案な
どについて、遠慮なくしゃべる
機会を提供し、意見交換し産業
振興・地域活性化の人的交流を
つくりだすこと。

参加費 無料

次第

13:00-13:05 《はじめに》：佐藤建吉（光楓座）

13:05-15:40 《しゃべり場》

13:05-13:45 ①序：（司会）西畑明信（ST） / "future center" 「失敗や成功の経験」

13:45-15:00 ②破：（司会）七字祐介（aaca） / "art is heart" 「アートは地域活性化とどう関われるか」

15:00-15:40 ③急：（司会）堀内道夫（光と風の研究所） / "nature is future" 「自然との共生こそが持続可能」

15:40-15:50 《休憩》

15:50-16:45 《しゃべり場セッション》：（司会）三島史路（類グループ） / "Karuizawa vs Tokyo"

「軽井沢に期待すること、軽井沢から発信すること」

向出裕子・中山瑞穂（東京中小企業家同友会）、土屋好生（軽井沢町商工会中軽井沢支部）・
春原真一（中小企業診断士）

16:45-17:00 《おわりに》：佐藤建吉（光楓座） / 提言・メッセージの記録と次回アジェンダ

ご来場には、公共交通機関をご利用願います。もし車で
ご来場の場合は「中軽井沢駅前駐車場」をご利用願いま
す。図書館受付で駐車券を受けてください。

懇親会 時間：午後 7 時～9 時、場所：ゆうすげ温泉旅館（軽井沢町大字長倉 4404、Tel 0267-45-6117、
<http://www.karuizawa.jp/yuusuge/>）、定員 20 名程度。会費（夕食付）：5,000 円。懇親会後に宿泊される場
合宿泊代（朝食付）：8,500 円。〔懇親会+宿泊代（1泊2食）で 13,500 円となります。〕

懇親会、宿泊の申し込み先 光楓座 kofuza@gmail.com または、創エネ・省エネ研究会 eco@tokyo-eco.com 宛に
参加者の氏名、連絡先（電話、email）を明記の上、12月15日までお申し込みください。

いま、**地方が疲弊**しています。東京はじめとする大都市への人口集中、法人・行政機構、そして政治経済、文化、あらゆるものが、**大都市に集中**しています。ふつうの人は、それが普通のこと、当然のこと、仕方がないこととあきらめているのではないのでしょうか…。しかし、こうした**状況**を放っておくことはできません。地方が、そしてそこに住んでいる人々のあらゆるものが軽視され、いま風の言い方では、持続可能でなくなる恐れがあるのです。こうして、「**地域活性化**」が叫ばれ、そのための取り組みが行われております。いくつかの市町では取り組みが結果を出し、地域活性化の成功事例として紹介されるようになってきました。大変すばらしいことです。しかし、大都市集中はますます進んでいるのが実情です。だからこそ、大都市と地方のそれぞれのよさを再確認して、地域再生を図り、そして、わが国「日本」の**持続可能性**を確保したいと思います。このイベントでは、こうした意味で、**地方の復権**（すなわち、地方や地域のよさを確かめ、愛着をもち、地域の文化や自然を保全し、そして暮らしや産業を豊かなものにする）を行い、日本全体としての調和を保ち、大都市（特に**東京**）と地方（今回は**軽井沢**）が共存できるように、多くのひとが語り合う場を提供したいと思います。話し語り合うことがしやすいように、「**しゃべり場@軽井沢**」として、軽井沢と東京の関わりを大きなテーマにしてトークしましょう。軽井沢のもつ**歴史**、そして**未来**、さらに**アート**と**自然**など、そして暮らしのための**経済**や**教育**、**文化**などをテーマにして語り合います。

たくさんのひとが、参加し語り合います。しゃべりリスト（しゃべるひと）。

- 佐藤建吉（主催者）・・・千葉県県の田舎、いすみ市在住で千葉大学工学部の教員（准教授）。金属の疲労（フレッキング疲労）、自然エネルギー（風力）、地域活性化（鉄の道プロジェクト）などを進めており、一般社団法人・光楓座などを運営している。男性、60代。
- 西畑明信（司会）・・・埼玉県在住で、東京都世田谷区二子玉川にフューチャーセンターとしての仕事場（ST株式会社）を維持している。NTTコミュニケーション元社員で、ICTを活かした地域再生を進めたいと考えている。千葉大学や足利工大で非常勤講師もしている。男性、40代。
- 高橋莞爾（しゃべりリスト）・・・千葉県佐倉市在住で、現在千葉大学大学院で経営者の人物像（とくに松下幸之助）を研究しており「成功研究者」を自称している。人を生かすための失敗成功者例を語る。男性、60代。
- 七字祐介（司会）・・・東京都在住。元大手ジェネコンの建築家。その後は総合研究所の社長も行き、今は日大の非常勤講師ほか、日本建築美術工芸協会で地域アートの調査研究委員代表のほか、国際水墨画交流協会幹事を務めている。男性、60代。
- 日高単也（しゃべりリスト）・・・日本建築美術工芸協会理事。日大生産工学部に創生デザイン学科を創設し、アートテクノロジーの融合を進めた、造形作家。男性、70代。
- 小野行雄（しゃべりリスト）・・・元・東京造形大学教授として日時計を研究・製作・収集・普及を進めている。60件以上の日時計作品がある。東京在住。男性、60代。
- 山本誠（しゃべりリスト）・・・東京都在住。環境・造形作家。金属製の小型作品から大物作品まで、自然や環境との関わりとモチーフとした作品を手がけている。日本大学非常勤講師。男性、60代。
- 小野寺優元（しゃべりリスト）・・・埼玉県在住。あるってアート、アートディレクター・彫刻家。自然を活かしたアートを切り口にしている。男性、60代。
- 高柳登美（しゃべりリスト）・・・埼玉県在住。ガーデンデザイナー・画家。オープンガーデンの指導や公園などパブリックスペースをテーマにしている。女性、?代。
- 堀内道夫（司会）・・・東京都在住。自然エネルギー利用を進める「光と風の研究所」（株式会社）の代表。太陽光発電の助成制度を日本初（No1）として実施したイノベーターでもある。静岡大学の非常勤講師も勤める。男性、70代。
- 角川渉（しゃべりリスト）・・・千葉県在住で東京渋谷に商業施設・店舗デザインを手がける株式会社タックを営んでいる。イタリアやバングラデッシュとの関係を活かした事業を展開している。男性、70代。
- 三島史路（司会）・・・類グループ東京社会事業部で、企業の活性化とネットワークづくりにより、社会基盤の構築を進めている。建築出身の若いコンサルタント。経営者や社員の意見を引き出しながら、「自考」する場の企画や仕切り役を仕事にしている。30代、男性。
- 向出裕子（しゃべりリスト）・・・神奈川県横浜市在住。株式会社エクレールにより、物品の販売マネジメントを展開している。薬剤師でもあり環境・化学に注視。東京中小企業同友会のエコ委員会委員長。女性、?代。
- 中山瑞穂（しゃべりリスト）・・・東京在住。風呂用遮影カーテンを開発し株式会社メリーポピンズを創業し展開している。エコ委員会委員。女性、?代。
- 土屋好生（しゃべりリスト）・・・軽井沢在住。軽井沢町町議会議員、キリマン酒店主。店内には陶芸ギャラリーを併設し地域振興を語りあう。男性、50代。
- 春原真一（しゃべりリスト）・・・軽井沢在住で、地域ブランドづくりアドバイザーでもあり、経営・販売・マーケティングの専門家。男性、50代。
- その他、参加者。